

## 第 104 回薬剤師国家試験の採点にあたって考慮した問題について

## 1 日目②【一般問題（薬学理論問題）】 問 113

問 113 ヒトにおける核酸代謝に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 デオキシウリジン 5'-リン酸 (dUMP) に S-アデノシルメチオニンからメチル基が供与されることで、デオキシチミジン 5'-リン酸 (dTMP) が生じる。
- 2 デオキシシチジン 5'-三リン酸 (dCTP) は、シチジン 5'-二リン酸 (CDP) のリボースの還元により生じる dCDP がリン酸化されて生成される。
- 3 核酸分解により生じたリボース 1-リン酸は、サルベージ経路により再利用される。
- 4 ピリミジンヌクレオチドの生合成に必要なカルバモイルリン酸は、尿素回路から供給される。
- 5 イノシン 5'-リン酸 (IMP) からのアデノシン 5'-リン酸 (AMP) の生成には、グアノシン 5'-三リン酸 (GTP) が利用される。

## 採点上の取扱い

複数の選択肢を正解として採点する。

## 理 由

複数の正解があるため。

1 日目③【一般問題（薬学理論問題）】 問 190

問 190 本症例に関する病態、検査及び薬物療法に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 睡眠時ポリグラフ検査や反復睡眠潜時検査が、診断に有用である。
- 2 メチルフェニデート塩酸塩の代わりにアトモキセチン塩酸塩を用いることができる。
- 3 処方3の薬剤は、処方1の薬剤より依存性が高い。
- 4 クロミプラミン塩酸塩は、REM睡眠関連症状の改善のために使用される。
- 5 日中覚醒できていれば、食生活と睡眠習慣の改善は推奨しない。

採点上の取扱い

複数の選択肢を正解として採点する。

理由

複数の正解があるため。

## 2日目①【一般問題（薬学実践問題）】 問 197

問 197（物理・化学・生物）

前問の質問に対する回答から、今回用いた血中濃度測定法は、ジゴキシンに対するポリクローナル抗体を用いる蛍光偏光イムノアッセイ（FPIA）法であることが判明した。そこで、モノクローナル抗体を用いる enzyme multiplied immunoassay technique（EMIT）法によって再測定を依頼した結果、0.8 ng/mL の値が得られた。免疫測定法に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 ポリクローナル抗体よりモノクローナル抗体を用いる方が、一般に交差反応性が大きい。
- 2 FPIA 法の代替測定法として、サンドイッチ ELISA 法はジゴキシンの測定には適さない。
- 3 FPIA 法では、蛍光標識したジゴキシンが抗体と結合することにより、蛍光偏光解消度が高値となる。
- 4 EMIT 法では、抗原-抗体複合体が酵素と結合すると酵素の活性が変化することを利用する。
- 5 免疫測定法の代替法として高速液体クロマトグラフィー（HPLC）を用いても、内因性ジゴキシン様物質の影響を除くことができない。

採点上の取扱い

全員を正解として採点する。

理 由

選択肢が不適切で正解が得られないため。